



Kanton Zürich
Bildungsdirektion



保護者へのご案内

HSK 授業- 児童の母国語とその文化

Volksschulamt
Besondere Förderung, Interkulturelle Pädagogik
ikp@vsa.zh.ch

Juli 2020
1/4

Japanisch

Fassung Oktober 2013, aktualisiert Juni 2020

HSK 授業について

児童の母国語とその文化に関する授業とは、ドイツ語を母国語とせず、第一もしくは第二言語がドイツ語ではない児童への補助的語学教育です。義務教育年齢に達した児童は幼稚園以降国民学校の終了時まで、この HSK の授業に通うことができます。

HSK 授業は母国語である第一言語に特化してこれを補助し、その言語圏の背景知識を伝える授業ですが、政治的そして宗教的に立場で中立な授業です。この授業では異なる生活環境にどう対処してゆくか、そしてそれに付属する様々な問題をテーマとして扱い、生徒達の語学能力を強化し、彼らのアイデンティティの形成とインテグレーションをサポートします。このことから、当教育庁としては、この HSK 授業の受講を推奨しています。

HSK 授業に関する組織構成について

HSK 授業はチューリヒ州国民学校法の中の法律で規定されています。国民学校庁 (VSA) は HSK コースの実施許可とそのコーディネートを担当します。

このコースの実施機関は各国大使館、領事館そして協会です。それぞれの機関が HSK コースを企画実行し、HSK 専門教職員を雇用します。それ故に、HSK 授業は、これに対する賛助機関のある言語のみ受講が可能となり、その言語での受講が可能である場合の受講内容は、すべてのレベル、もしくは一部のレベルのみといった、各機関の提供状況に左右されることとなります。VSA 自体は HSK 授業を提供することはありません。

州の規定をクリアした HSK コースはいわゆる認定 HSK コースとなり、以下の基準を満たしていることとなります。

- 授業は政治的そして宗教的に中立なものであること、そしてその言語グループのすべての児童たちに関わったものであること。
- 授業は非営利的に運営されること。学費は授業運営の確保のために徴収および充てられること。
- 教職員は教育学の資格を持ったものであり、十分なドイツ語の知識があり、国民学校庁の行う必須継続訓練を受けること。

国民学校庁の認定を受けた賛助機関は、国民学校施設の無償使用と、HSK での成績をチューリヒ州国民学校における公的通知簿へ記載させることが許可されます。

授業時間と免除について

授業コマ数は法律に定められたものとなります。幼稚園から第一学年までは週に 2 コマまで、第二学年以降は週に 4 コマまでが許可されています。

HSK の授業はおおむね正規学校の授業期間外に行われますが、HSK の授業が正規学校の授業期間内に行われる場合は、その児童および生徒達には最大 2 コマの範囲で正規授業の免除が与えられます。その旨を事前に学校運営部に対して申請をする必要が保護者にはあります。その際、どの授業が子供のためになるかを考量する必要があります。VSA としては、学校クラス担任とその都度相談して決めることを勧めます。

受講場所とオンライン授業日程

HSK の授業は通常公の国民学校の施設で行われますが、児童の居住地の近くでも可能です。その際、各 HSK 実施機関が各自の教室を準備します。

すべての言語、受講場所そして授業日程に関する一覧は州のオンライン日程表 (<https://www.hsk-kantonzuerich.ch/>) をご参照ください。このサイト内にて、HSK の授業で実施している言語、レベルそして場所を、お子さんのために目的に合った検索をすることができます。

国民学校公的通知簿への HSK 成績記載について

HSK の教職員は HSK の授業での児童の成績および学習進度を 1 から 6 の段階で審査評価し、VSA の評価票に記入します。学校のクラス担任はそれを受け、その採点を国民学校公的通知簿をそのまま転記します。ほとんどの出身国でこの HSK 授業への受講が認定されています。

子供を受講させるには

受講開始時は通常その年の学年の学期始めとなります。

チューリヒ州のすべての学校は一月に VSA から HSK 認定コースが記載されている HSK 受講申し込み用紙を受け取り、子供たちに配られます。保護者は三月の末までに受講申し込みをします。つまり、新学期が始まる約 4 か月前に申し込みをしなければなりません。児童の受講申し込みは、申込用紙に記載されている実施機関にて直接行うか、または申込用紙に記載されているリンク先からオンラインで行うことができます。

HSK コースを提供している機関によって、受講料は無料（例えば大使館がそのコストを負担する場合があります。）、もしくは受講料が発生します。もし受講料が高すぎて支払いが難しいという場合は、受講申し込み用紙に記載されているコーディネーターと連絡を取ってください。生活保護を受給されている場合は、多くの自治体がこの受講料を負担しています。

HSK 授業の有益性について

よく作りこまれた HSK の授業は以下の利点があります。

- ✓ 児童と生徒達は言葉の理解と言葉話すこと、読み書き、これらの知識を第一言語（母国語）で深めます。これは子供たちにとって財産となります。
- ✓ 第一言語（母国語）を良く使いこなせるということは、通常、第二言語であるドイツ語や他の外国語を学ぶことが楽になります。
- ✓ HSK 授業を受講することで、子供達には自信がついていくのと同時に一般知識も増えることから、公的教育機関での学習成果におおむねポジティブな効果を得ることができます。
- ✓ 将来就職において成功するには、多言語を操れるということが今日のグローバルな世界において価値のあるリソース（知的資源）となります。
- ✓ 第一言語（母国語）に精通しているということが、家庭内でのコミュニケーションや親戚との付き合いをしていく上で子供たちを助け、場合によっては出身国やその言語圏内に帰国する際、子供たちの負担を減らします。

多言語を話す子供の言語能力の発展を保護者としてサポートするためには

ご自身が一番よくできると思い、構えることなく自然に話せる言語でお子さんと話しましょう。外国語が母国語の両親が子供とドイツ語で話すことで、子供の学校生活が楽になるだろうという忖度は間違っています。

お子さんと話す時、あなたの言語とドイツ語をごちゃまぜにして話すことを回避してください。お子さんがドイツ語で答えたとしても、あなたの話す言語は変えずにそのまま話しましょう。しかし、お子さんが答える言語はお子さんに自分で選ばせましょう。

もしお父さんとお母さんが異なる言語を話す場合、それぞれの言語で子供と話しましょう。その際には重要で明確なルールがあります。それは、『お母さんはこの言語で話して、お父さんはあの言語で話しますよ、私たちが一緒にご飯を食べるときはこのルールでそうしましょう』ということです。

危機的な状況の時にこそ判断を誤ってはいけません。あなたの話す言語を理解しているにもかかわらず、お子さんがドイツ語しか話さない時期があるかもしれません。あなた自身があなたの言語を忠実に守って話し続けていれば、子供は耳から聴くその言葉を学んでいきます。きっと後になってその言葉を話し始める時期が来るはずですよ。

あなたのお子さんがあなたの言語を話す喜びを、一緒に絵本を読んだり、韻を踏んだり、歌を歌ったり、音楽を聴いたり、本を読み聞かせたりしながらサポートしてあげましょう。

しかしながら、お子さんが小さい頃からドイツ語に触れる機会を多く持てるように心を砕いてあげましょう。あなた自身もドイツ語に対してオープンな心を持ち、ドイツ語を学んでください。あなたがお子さんのお手本となってください。

あなたのお子さんを（可能であれば幼稚園から）この HSK の授業へ通わせ、そこで何を学んだか、いつもお子さんに聞いて説明をさせてあげてください。

正規授業を受ける学校と HSK コースのクラス担任であるそれぞれ先生と定期的にコンタクトを取り続けるよう、心がけてください。